

～ 富士見市指定文化財の紹介 ～

## 南畑八幡神社鰐口（わにぐち）

指 定	市
種 別	有形文化財
種 類	歴史資料
員 数	1点
指定日	平成13年（2001）2月8日
所在地	富士見市大字下南畑



鰐口（複製／難波田城資料館）

### 【 概 説 】

鰐口に記された銘文から、応永年間（1394～1428年）に中山大明神（川島町または飯能市）に奉納され、その後に難波田与太郎によって小代（東松山市？）の総社八幡宮に再度寄進されたことがわかります。その後の経緯は定かではありませんが、戦国期に上杉軍が松山城を攻略した際に持ち去ったとも考えられています。

明治時代末期に新潟県新発田市の某寺から埼玉県社寺課を通して南畑八幡神社に移され、その後、第二次大戦中に供出されましたが、文化財としての価値が認められ、再度同社に返還されました。

当資料は中世期の鰐口としては、県内でも古い形式で、市内でも数少ない中世資料のひとつです。